

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2025年2月18日

事業所名：放課後等デイサービス 放課後等デイサービスゆきんこの森

対象人数(保護者)23人 回答者数 16人 回収 69.6%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	2	
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	3	
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	2	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16		
適切な支 援の提 供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16		
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16		
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1	
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1	
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1	
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	8	4
保 護 者 へ の 説 明 等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16		
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16		
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	6	2
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	1	
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16		
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		12	4
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	4	
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16		
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16		
非 常 時 等 の 対 応	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16		
	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	3	
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	8	
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	2	
満 足 度	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	2	
	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	1	
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	16		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスゆきんこの森		令和7年 2月 21日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動に合わせて適切なスペースの確保、柵を活用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		人員基準を満たす人員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		様々な用途で使う部屋がある事や、写真やカード等を使って、子供に分かりやすい環境作りなども行っている。手すりの設置もあり。	階段や段差があり、車椅子の利用は難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の清掃、感染対策としてマスクの着用、手洗い、消毒を徹底している。ジョイントマット、タイルカーペットを設置。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		常に個別対応が可能な個室を複数用意しており、静養室も確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼や終礼でのミーティングにて情報共有及び、コミュニケーションツールを活用し、全職員で情報共有を図っている。	朝礼に参加できないパート職員との情報共有を工夫する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	保護者様との連絡は送迎時及び、コミュニケーションツールを活用して密に取り合っている。	評価表等のフォーマットを作成し、フィードバックを得れたものは職員間で共有し改善に繋げていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の朝礼や終礼、ミーティングを行い業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現時点で第三者による評価を受けていない為、今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		なるべく多くの研修を受けることができるようにシフトを調整し、朝礼後の時間を使って社内研修を行っている。	より多くの職員が直接研修を受ける機会を増やす。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		2025年2月に公表予定。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日々の保護者とのコミュニケーションでニーズの聞き取りを行い、個別支援計画作成に繋げている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日々のミーティングで利用児童に対する支援の報告・改善を行っている。	利用児童に対して最善の選択を行うために職員全員が日々研修や勉強に積極的に取り組む。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画に沿った支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		自社独自のアセスメントシートを活用し、児童の状態の把握に努めている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援計画には、本人の意向・家族の意向を反映し、各関係機関との連携を意識した支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムは職員間で話し合いのもとに決定し、細かい担当の割り振りも行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		過去のを参照し、固定化しないように配慮している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子供の発達段階、年齢に応じて個別活動、集団活動を組みあわせ、効果的な支援が行えるように努めている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時に支援内容、役割分担を確認し必ず共有している。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼時、振り返りの時間を設け、次回の支援に繋げている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		分かりやすい記録模式を使用し、当日に記録・検証・改善に活用できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングを実施し、見直しの機会を設けている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。		○		地域交流との機会の提供に関しては、今後交流を検討していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		日々の支援の中で、児童が自らの意思で選択できるような関わり方を心掛けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者、児童発達支援管理責任者を中心に参加、参加前には必ず対応をしている職員の聞き取りを行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		協力を得られるよう普段から連絡を取り合い連携できる体制にしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		主に保護者様を通して子供の様子等を確認・共有するようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		部会や担当者会議等で、情報共有できるよう努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		まだ事例が少ないが、情報共有できるよう準備しておく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		部会等を利用して、そのような機会を設けるようにしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		地域との交流する機会がない為、今後の課題としている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		必ず参加し、情報共有を行っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		普段より保護者様と密に連絡を取り合っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		十分な家族支援ができていない為、今後の課題としている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		保護者様への説明は書面を通して行い、理解を得るように努めている。またコミュニケーションツールを活用して、常に保護者様からのお問い合わせに対応できる体制を整えている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様や児童と話す機会を設けて、意思の把握に努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		対面での説明後、保護者様からの同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談以外でも、相談があった際には話す機会を設け、寄り添った支援を心掛けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会や保護者様同士の交流の機会を設けるよう今後の課題にする。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		朝礼や終礼で周知し、迅速な対応に努めている。再発防止の為、職員間での情報共有と対応の徹底を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に一度、写真で活動の様子が伝わる通信や次月の活動スケジュールを配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は鍵付きの書庫にて保管し、漏洩等がないよう努めている。	

非常時等の対応	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		児童一人一人に対応した情報伝達の方法を考え、共有するよう努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後検討していく。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを用意しており、職員の入社時に研修・訓練を行っている。	今後家族への周知を徹底していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		継続的な事業所運営のためにBCPを定め、定期的な避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		具体的な対応方法は訪問の看護師に確認し、研修を受けて周知している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		必ず保護者様への確認をとっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		児童の安全を第一に、いち早く危険を察知できるよう職員間で連携を取りながら安全性を意識した支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		保護者様にも具体的な説明を行い周知を行っている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの記録を行い、終礼時に再発防止に向けた対策会議を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に社員研修を行っており、ミーティングでの情報共有にも努めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	事前に保護者様への説明を行い理解を得ている。	計画書にも身体拘束に関する事項を記載する。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスゆきんこの森			
○保護者評価実施期間	令和7年1月16日 ～ 令和7年2月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	令和7年1月16日 ～ 令和7年2月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	飾りづくりなどの制作に力を入れている	制作が不得意な児童でも参加しやすいよう職員がフォローする。また個別に対応している。	全員に同じものを作ってもらっているが少し難しいものが作れるようであればチャレンジしてもらえよう、難易度が高いものも準備する。
2	事業所だより	毎月1回事業所だよりを発行し、どのような活動をしているか、写真で伝えている。また、活動の意図も文章で伝えている。	保護者に直接活動を見ていただけるよう、参加できるイベントを企画する。
3	活動の中で児童が興味を持ったものに対し、個別に自由時間で職員が対応している（音楽など）	興味をもったものについては、職員間で共有し、児童の地震や達成感につながるようにしている。	同じものに興味を持った児童同士と一緒に活動し、積極的に集団で活動ができるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	始まって1年の事業所でまだ模索の段階などところがある。	検討課題がでるたびに職員間で話し合いながら進めているが、まだまだ模索の段階である。	子供や保護者の意向をきく機会を今後も積極的に作り、ニーズの理解を深めていく。
2	地域や他事業所との関りが無い。	単独の施設であるため交流の機会がない。	地域のイベントへの参加や近所の公園の清掃等外へ向けた活動も取り入れていく。
3	保育所や児童発達支援センター等との連携がない。	児発がないため、つながった支援がしづらい。	児発に通っていた子について部会等で、自主的に情報共有していく。